

## 北九州市立児童館指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	(社会福祉法人 北九州市福祉事業団)
1 指定管理者としての適性について	<p>【理念・基本方針】</p> <p>当法人は、「一人ひとりの笑顔のために」をスローガンに障害児支援事業や保育事業を展開しており、児童館の特性(拠点性等)を認識し、国の「児童館ガイドライン」や市の施策に沿いながら、こどもまんなか社会の実現に取り組みます。</p> <p>【人的基盤】</p> <p>20代から60代の幅広い年齢層の児童に関する専門職が、健全な成長を支えます。保育士や教員を目指す学生を積極的に雇用し安定的かつ将来を見据えた人的基盤を築いています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童厚生員 94人(保育士、教員免許、社会福祉士資格保有) 児童健全育成財団の認定資格も順次取得</li> <li>● 指導員 608人(うち218人は、放課後児童支援員資格取得済) ※ 今年度さらに27人受講予定</li> <li>● 発達障害など配慮が必要な児童に対しては、当法人が独自に配置している療育相談員が、様々なサポート(R5支援件数132件)を行うなど、児童館を支える仕組みが構築されています。</li> </ul> <p>【財政基盤】</p> <p>法人の令和5年度決算においては、流動比率は287%、資産比率は83%(純資産額は85億円)、固定長期適合率は82%であり、財産基盤の安定性は確保されています。</p> <p>【児童館運営実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域から推薦された児童館長や地域の方々と絆を深め、58年間にわたり管理運営を行っています。</li> <li>● 子どものニーズ(いろいろな遊びがしたい)、乳幼児親子のニーズ(他の保護者と交流がしたい)など利用者の様々な声に応えた結果、「今後も児童館を利用したい」が<u>98%</u>と、高い評価をいただいています。</li> </ul> <p>【同類施設】 総合療育センター等の障害児施設・保育所(15か所)・こども若者支援センター(YELL)・ヤングケアラー 等</p>

【有効性】に関する  
取組み

**【施設の管理運営方針】**

- 1.子どもの健全育成:新しい運動遊び、学習支援、意見表明の機会提供等により、成長を支援します。
- 2.遊びと生活の支援:子どもたちの課題に寄り添い、配慮し、すべての子どもの居場所となります。
- 3.地域との連携:自治会長をはじめ地域の方で構成する運営委員会と共に、みんなで関わる環境づくりを推進します。
- 4.子育て支援:子育て家庭に対する相談や援助を行い、地域における子育てを支援します。
- 5.職員の資質と専門性の向上:適切な子育てを支援できるよう、様々な方法で職員の育成に取り組みます。

**【利用者を増加させるための取組み】**

- ・NIKE(スポーツメーカー)等と連携し、運動プログラムの実施を行う。
- ・親子ふれあいサロン(R5 現在 15 館開設)を整備・拡充し、乳幼児等の利用促進を図ります。
- ・NPO と共同して「まなぼうさい(防災にまつわる講座や体験を通して遊びながら学べるイベント)」を実施。
- ・行事の充実に加え、無料のクラブ活動や教室を提供し、一般来館児童の利用促進を図ります。
- ・出前児童館により、児童館のないエリアの小学校へ出向き児童館での遊び等を提供します。
- ・児童館オリジナルキャラクター「くーちゃん」、「ナビィ」を活用し、積極的なPRを実施します。

**【施設間の連携】**

- ・児童館 50 周年を記念して開始した「大じどうかんまつり」(R5 来場者 8,000 人)は、法人本部と全児童館が一体となり企画運営しています。
- ・複数の児童館が一同に会し、ドッジビー大会、交歓卓球大会、一輪車大会、モルック大会、ジュニアリーダー養成キャンプ等を開催することにより、施設間の交流を深めます。
- ・行事、広報、管理運営、研修、ICT の各分野に専門委員会を設け、児童厚生員が自ら共通目標の達成・課題の解決に一丸となって取り組んでおり、職員の能力向上に繋がります。
- ・ゲスト Wi-Fi 導入、ONLINE による他都市の児童館との交流等、ICT を活用します。
- ・放課後児童クラブの学校休業日8時開館、第三者評価基準ガイドラインの自己評価を実施します。

**【利用者への情報提供】**

- ・LINE 公式アカウント開設、Instagram、YouTube の活用

	<p>【効率性】に関する 取組み</p>	<p>(1)指定管理料及び収入 収入と支出のバランスを考え、効率的に運営します。</p> <p>【経費削減】 委託業務の一括入札・光熱水費の節減・法人本部による事務事業の集約化</p> <p>【収入確保】 負担金の収納率向上（R5実績 99.9%） ・開館時間延長利用料徴収(学校休業日 8 時開始)</p> <p>(2)収支計画の妥当性及び実現可能性</p> <p>【収入】 保護者負担金及び入会金については、登録児童数の伸び率を勘案して積算しています。また、延長児童数については、令和 5 年度の実績をもとに計上しています。</p> <p>【支出】 利用者への安全安心なサービスの提供を最優先に考え、必要な人件費、運営費を計上しています。</p>
--	--------------------------	---

	<p>【適正性】に関する取組み</p>	<p>【統括管理】 当法人事務局での人事・財務面の集中管理体制により効率的・効果的な管理運営を行います。</p> <p>【各児童館】 専門性があり、経験豊かな人員を適切に配置し、安全・安心な管理体制で各児童館を運営します。</p> <p>【関係機関との連携】 事業団内外の関係機関との連携により、常にサービスの質の向上に努めます。</p> <p>【個人情報保護】 各種規程を遵守すると同時に、個人情報に関する研修を継続的に行い、意識の向上に努めます。</p> <p>【平等利用】 放課後児童クラブだけでなく、一般来館児童・中高生・乳幼児の保護者など、子どもに関わる全ての方の利用促進につながる環境整備と行事の充実を行います。</p> <p>【安全対策】 安全対策マニュアルに基づく危機管理対策(事故・災害)と地域や警察・消防との共同訓練により発生時に備えます。</p> <p>【危機管理】 法人独自の災害対策要綱に基づき、利用者の命を守るとともに、地域協力にあたります。</p> <p>【社会貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、外国人など多様な人財の雇用を推進しています。</li> <li>・通学路の危険箇所マップを作成して、学校へ情報提供しています。</li> </ul> <p>【SDGs】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々との清掃活動や児童館の LED 化を推進しています。</li> </ul> <p>【地域貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学や看護学校等からの実習生を積極的に受け入れています。</li> </ul>
--	---------------------	---

提案額

令和7年度	807,650 千円
令和8年度	806,219 千円
令和9年度	812,488 千円
令和10年度	813,327 千円
令和11年度	816,610 千円